

9時45分 カフェ街路樹にて集合

参加者名簿 次第(本日の流れ確認) 当日の配布資料

役割 講師 高田さん

司会 (山城さん)

受付 (松本さん、山城さん)(配布資料、参加費 200 円徴収)

カメラマン (岡部) 終わりの挨拶(岡部)

会場提供・お茶菓子準備 (沖さん)

参加者の詳細は以下になります。

性別 男性 1人 女性 9人

配布資料 「地域交流の場ぽつぽつ 災害用伝言ダイヤル編」(次第)

「災害用伝言ダイヤル説明 録音・再生の方法」

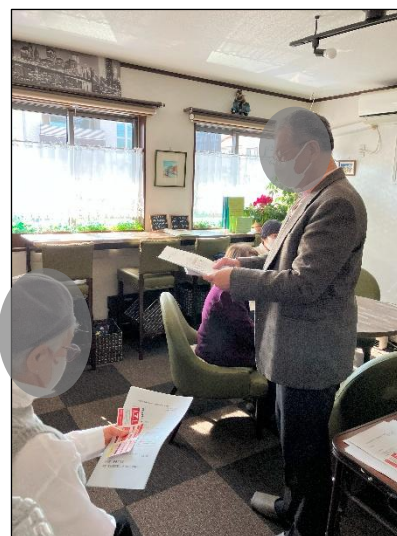
「NTT 東日本 171 の説明 録音・再生の方法」

「アンケート」

(プログラム 11 の資料)

実際の状況を報告致します。

全体の様子



11 回目の開催。本日は高田さんが講師を務めます。

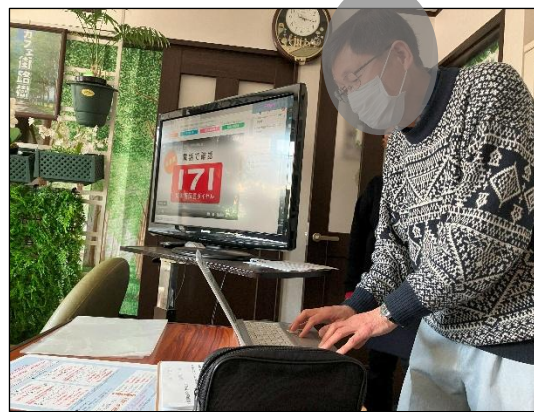
今回のテーマは『災害用伝言ダイヤルの利用の仕方』になります。災害時、不安な気落ちになります。自分の・家族・友人・知人の安否が心配になります。

安心な気持ちになるには、自分含め、安否が確認できると少しずつ安心な気持ちになっていきます。電話回線が混雑して連絡が取りにくい状態になっても繋がりのやすい回線の『災害用伝言ダイヤル』を学びます。
防災協議会の高田さんより説明を頂きました。

カフェ街路樹では PC をテレビに繋がる事が出来ます。



配布資料・紙媒体・講師説明では、災害用伝言ダイヤルのイメージが付きません。動画や実際に電話機器を使用し説明していきます。



災害用伝言ダイヤルの操作方法の動画は、誰にでも分かりやすい説明つきです。災害用伝言ダイヤルでは「どんなことが出来るの?」「活用方法は?」

「電話回線が込み合っている時でも利用できるの?」

「固定電話・携帯電話・ガラケーでも利用出来るの?」

質問や疑問点は多々あります。最後に回答するとして、今は利用方法に集中します。

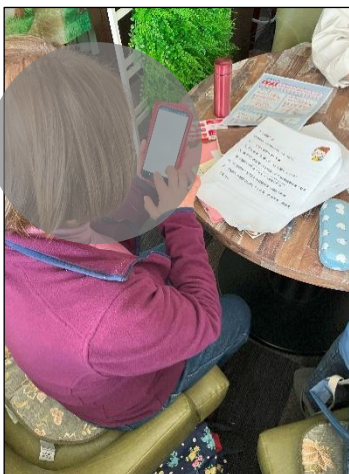
動画で操作方法確認すると、次は実戦です。まだまだ操作に自信がありません。動画ではなく実物で確認したい。そんな心の声が聞こえてきました。

会場提供の沖さんが固定電話での「災害用伝言ダイヤル」の実演をして頂きました。



しっかり学習したら、いよいよ実践です。協議体構成員の皆様、サポート体制していきましょう。

操作が出来ないで困っている方は？いませんか？



全体を確認すると積極的に自分から操作を進めていく参加者の姿を多く見かけました。防災意識が高まると、積極性・意欲的な気持ちになることを確信しました。スマホ操作が難しい参加者でも、参加者同士で教えあっていました。とても素晴らしいと感じました。



災害用伝言ダイヤルのガイダンスが分かりにくく、混乱するイメージでしたが、こんなにスムーズに進行できた会があったのでしょうか？
音声ガイダンスをよく聞いて操作を…。と聞いていましたが…。
今は「災害用伝言ダイヤルの文字化」になっています。
こちらが「171」にダイヤルした後の音声ガイダンスの文字化です。
音声ガイダンスは電子音であり、聞きにくい・内容が分かりにくい部分もあります。文字化を一度見て確認すると、内容がスッキリしてきます。

操 作 手 順		伝言の録音		伝言の再生	
①	171をダイヤル	171			
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンタです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。			
		(暗証番号なし)	(暗証番号あり)	(暗証番号なし)	(暗証番号あり)
		1	3	2	4
			[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。		[ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。
		XXXX	XXXX		
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地域の方はご自宅の電話番号を、または、連絡を取りたい被災地域の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい			
		0XX XXX XXXX			
伝言ダイヤルセンタに接続します。					
		[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXX(暗証番号XXXX)の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。		[ガイダンス] 電話番号0XXXXXXXの伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。	

無事に災害用伝言ダイヤル「録音」「再生」が終わり交流タイムになりました。



参加者全員ほっとした表情でした。参加者同士の顔も馴染んでおります。
協議体構成員も積極的に交流しておりました。

交流の時間でも、防災協議会の高田さんは止まりません。



災害用伝言ダイヤルの利用についての『Q & A』を丁寧に説明して頂きました。
今年度最後の「地域交流の場」であり、参加者には岡部よりお礼の挨拶をしました。

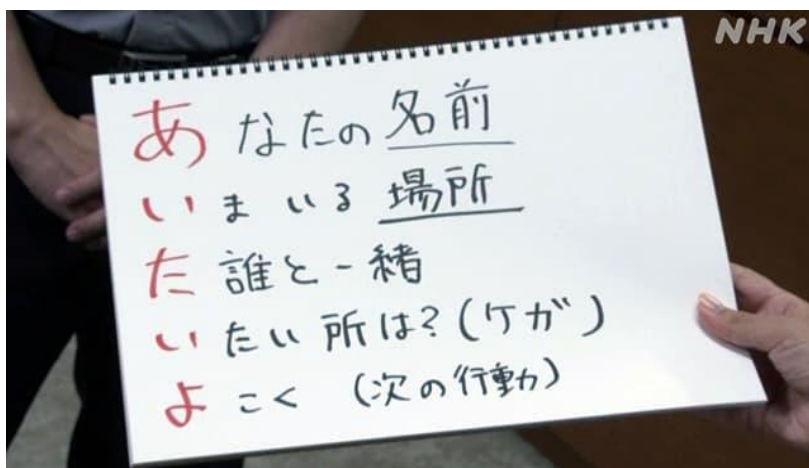
また次回以降の案内の説明もしました。

- ① このプログラムをもっと多くの人にも参加頂く為「開催場所の変更」
- ② 開催場所の確保が出来る時期を伝え、詳細が分かり次第連絡すること。
- ③ 今後、参加費は無料になること(飲料は持参を願いました)。

本日参加者の連絡先は了承のもと聞き取りました。

今回のアンケート集計は以下になります。

- 今回の災害用伝言ダイヤルについて当てはまるところに○をつけて下さい。
バッチリ出来る 3名 少し不安だが出来る 4名 まだ練習が必要 2名
教えてくれる方がいれば出来る 0名 難しくて出来ない 1名
- 災害用伝言ダイヤルに録音するポイントの頭文字を記入して下さい。



全員正解でした。

- 自由懇談について
満足 8名 普通 2名 やや不満 0名 不満 0名
- 今回の企画で感想や印象に残った事を教えてください。
実際に体験ができ勉強になりました。
災害の時に落ち着いて録音出来るようにしたいです。
大変勉強になりました。ありがとうございました。
この先も楽しみに出来る限り参加したいと思います。
1年間防災について自分事として考えられる事が出来ました。
大変有意義な1年だったと実感。
ありがとうございました。街路樹さんにも場所提供感謝。
「171」①で録音して体験できたことが印象に残りました。
とてもよい雰囲気です、いつも楽しく学ばせていただきました。

今年度最後の会になりました。気づくと、今までの活動を振り返っていました。硬い表情していた参加者も、今は表情豊かで交流を楽しんでいます。地域の顔馴染みが増えていけば、住みやすい地域になります。アンケート結果にも分かるように「地域交流の場ぽつぽつ」を今後も続けて欲しいという声があることが確認できます。

来年度 開催予告

内容：東大和警察署による「防犯」の講和

を参加者に伝えました。早くも「開催場所は？」「日程は？」「詳細が分かったら連絡ください」と心があたたまると嬉しい言葉も頂きました。今後も参加者の期待に答えられるように慎重に「地域交流の場ぽつぽつ」を進めていきます。